



CCUSについてもっと知りたい!

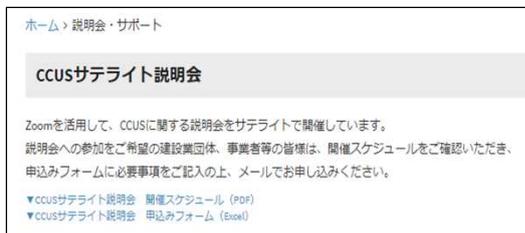
建設キャリアアップシステム



で検索! <https://www.ccus.jp/>



1 CCUSに関する無料説明会をサテライトで開催しています。



ホームページトップヘッドラインの「説明会・サポート」>「CCUSサテライト説明会」から、
▼CCUSサテライト説明会 開催スケジュール(PDF)
▼CCUSサテライト説明会 申込みフォーム(Excel)
をダウンロードしてお申込みください。

2 YouTubeでCCUSに関する説明動画を公開しています。

3 地元業者の登録状況を検索できます。



事業者一覧	
商号又は名称	商号又は名
(株) 小関田中園	コセキタナカエン
(株) 三共田中	サンキョウタナカ
(株) タナカ	タナカ
(株) 田中ガラス	タナカガラス
(株) 田中協業	タナカキョウギョウ
田中金属 (株)	タナカキンゾク
(株) 田中組	タナカグミ
田中建機 (株)	タナカケンキ
(有) 田中建業	タナカケンギョウ
田中建工 (株)	タナカケンコウ(カブ)
(有) 田中建設	タナカケンセツ
(株) 田中建設	タナカケンセツ
(株) 田中建設工業	タナカケンセツコウギョウ
田中建設工業 (株)	タナカケンセツコウギョウ
田中興業 (株)	タナカコウギョウ

地方公共団体の皆様



建設キャリアアップシステム

Construction Career Up System をご存じですか？

建設キャリアアップシステム —  CCUS — とは
技能者の資格や現場での就業履歴を登録・蓄積し、
技能・経験に応じた適切な処遇につなげる仕組みです。

このシステムを活用して

若い世代が安心して将来を託せる

技能や経験に応じて給与を引き上げる

技能者を雇用し育成する企業が伸びる

建設業を目指しています。

システムへの登録



資格や社会保険加入状況などを登録すると、CCUSカードが交付されます。

就業履歴の蓄積



現場に設置されたカードリーダーなどでCCUSカードを読み取ります。

専門工事業の施工能力のPR



ゴールドカード：●●
シルバーカード：▲▲

基礎情報：★★★★

施工能力：★★★★

コンプライアンス：★★★★

所属する技能者のレベル・人数等に応じて
施工業者の施工能力を評価・公表。

技能者の技能・経験を評価



レベルに応じた色のCCUSカードを技能者に
交付。手当や給与に反映する環境整備

このシステムは、地方公共団体の皆様にとっても重要な「地域の守り手」としての役割を、建設業が将来にわたり担うために必要な取組です。

国土交通省と日本建設業連合会(日建連)・全国建設業協会(全建)・建設産業専門団体連合会(建専連)・全建総連などの業界団体等が連携し、官民一体となって推進しています。是非ご理解をいただき、公共工事等での利用の促進をお願いいたします。

CCUSのシステム運営は 一般財団法人 建設業振興基金 が実施しています。

CCUSの登録・利用が進んでいます！

すでに技能者の約3分の1(約97万人)

施工実績のある事業者の約3分の1(約13万社)が登録済。

現場利用も増加中！(2021年度に延べ2740万人が利用※)

※ 就業履歴登録

技能者のメリットは？

★健全な技能者であることの証明★

- ✓ どの現場・どんな事業主にも、**技能や経験等を客観的に証明**
- ✓ 技能や経験が**客観的に評価**され、**技能や経験に応じた処遇を期待**
- ✓ **建退共(退職金)の根拠**
- ✓ 健康被害・事故・賃金不払等の際の**身を守るための就業証明**

事業者のメリットは？

★人を育てる健全な事業者であることの証明★

- ✓ 技能者を育てると、**施工能力の評価がUP**し、**受注機会の拡大**に期待
- ✓ 技能者の**社会保険加入状況の確認**など**事務作業の効率UP**
- ✓ **公共工事で評価がUP**
- ✓ ハローワークで求職者への**応募勧奨**を受けるなど、**求人活動での支援がある**

事業者・技能者がCCUSでやること(利用手順)

1

元請・下請
事業者

システムへ
の登録申請



2

技能者

カードの取得



3

元請事業者

現場登録
カードリーダー等
設置



4

元請・下請
事業者

施工体制登録
施工体制技能者登録
(職種・立場等)



5

技能者

現場でカードを
タッチ



→就業履歴を蓄積！

公共工事での活用を促進しています！

技能者の処遇を改善して担い手を確保し、建設業を将来にわたり持続可能にするため、国土交通省は公共工事発注者による**CCUS**の利用を促進しています。

国直轄工事

2020年度よりモデル工事を試行
事業者登録率・技能者登録率・就業履歴蓄積率を確認の上、達成状況により工事成績評定で加点。

地方公共団体発注工事

国土交通省より、直轄工事でのモデル工事や、先行する県による総合評価での加点等を踏まえた取組みを要請。
(2022年5月)

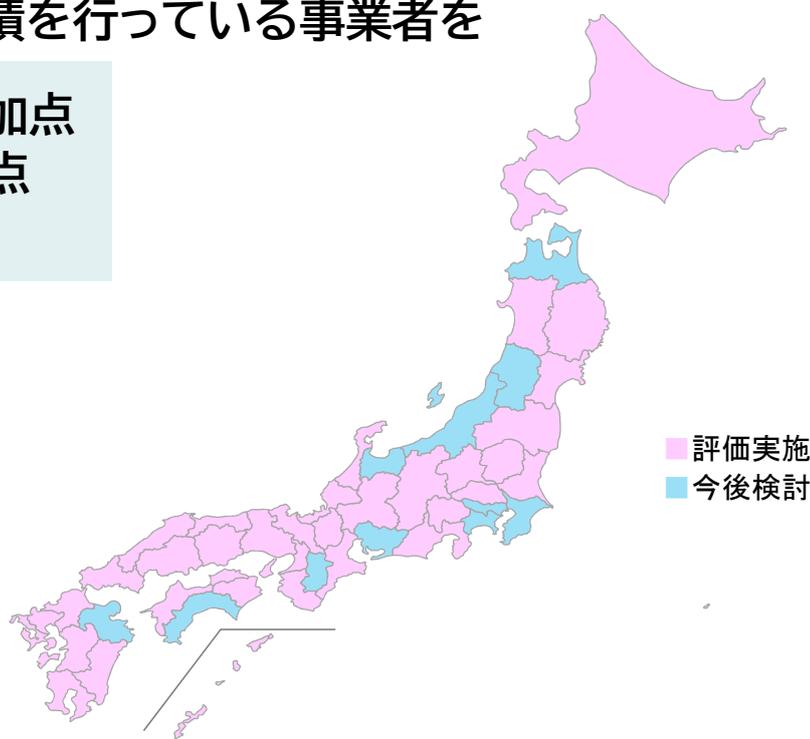
36道府県が、公共工事発注時の**CCUS**活用業者の評価の導入を表明し、他の全ての都県も導入の検討を表明 (2022年9月30日現在)

CCUSの登録や就業履歴の蓄積を行っている事業者を

- ①モデル工事等の工事評定で加点
- ②入札時の総合評価方式で加点
- ③入札参加資格での加点

により評価

※市町村では、さいたま市・横浜市・名古屋市・岡山市などがモデル工事における**工事成績評点での加点**、仙台市・さいたま市・浜松市・堺市・広島市・茅ヶ崎市・熊本市・世田谷区などが**総合評価方式での加点**、千葉市・相模原市・郡山市などが**入札参加資格での加点**を導入済



経営事項審査

経営事項審査において、**CCUS**を活用した元請事業者に対し利用状況に応じて10～15点の加点措置を導入 (2023年1月施行予定)

○建退共の電子申請方式の導入に伴い、公共工事における建退共の適正履行(掛金充当)と一体で、CCUSの活用を促進しています。